

JECC Leasing Singapore 導入事例紹介

JECC Leasing Singapore (略称：JLS) は、主にASEAN地域などでグローバルに事業展開している日系企業を中心に、IT機器、産業設備など幅広い分野において、以下のような様々なニーズに応えながら、最適なファイナンスを提供している。

1. 機器導入時の初期投資負担を軽減し、キャッシュフローを改善
2. 老朽化したIT機器を、予算計画に支障をきたさず最新のものに
3. 資金調達コストの削減及び事務手続きの負担を軽減

これらのニーズに対応した最近の事例を紹介しよう。

JLS 概要

商号：JECC Leasing (Singapore) Pte.Ltd.
 設立年月：2014年4月
 (営業開始：2014年7月)
 事業内容：リース、割賦などのノンバンク業務
 資本金：4百万シンガポールドル (約3.2億円)
 資本構成：JECC 100%出資子会社
 住所：80 Robinson Road, #10-01A
 Singapore 068898
 TEL：+65-6420-6807

事例①

機器導入時の初期投資負担を軽減し、キャッシュフローを改善

最初に紹介するのは、機器をサービス提供する某サービス会社様の事例だ。お客様では、従来、機器を調達する際、初期投資負担が大きくなっていった。また、サービス提供先からのサービス料回収が長期にわたるため、キャッシュフローの悪化が懸念されていた。そこでお客様が購入した機器を一旦JLSに一括売却し、さらに月額費用にて調達するファイナンスを提供した(図1)。

この結果、調達費用の月額化により、先行投資の負担が軽減され、キャッシュフローの改善が実現された。

あわせて、シンガポールにおける優遇税制を活用することで、節税メリットを享受した機器導入を実現した。海外の優遇税制については、知らないとメリットを享受できないことが多くある。JLSではそういった有益な情報提供も行っている。

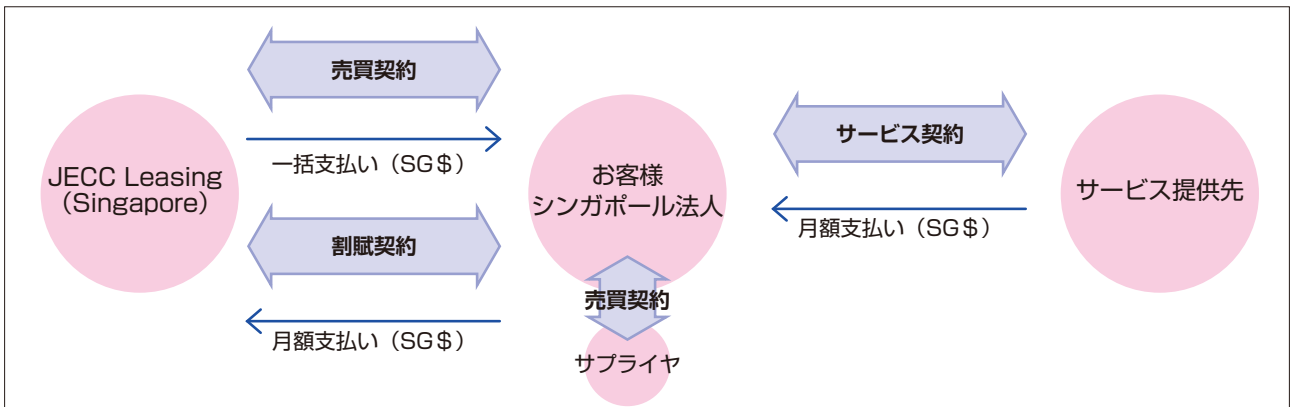
事例②

老朽化したIT機器を、予算計画に支障をきたさず最新のものに

迅速な対応も大切だ。シンガポールに拠点を置く某商社様では、IT機器が老朽化しており、利用者から不満の声があがっていた。そのため、今期の予算計画に支障をきたさず、できるだけ早期に新たなIT機器を導入したいという要望があった。

この事例では、「迅速に最新機器を導入し業務効率を改善すること」、「一括費用負担の軽減を行うこと」の2

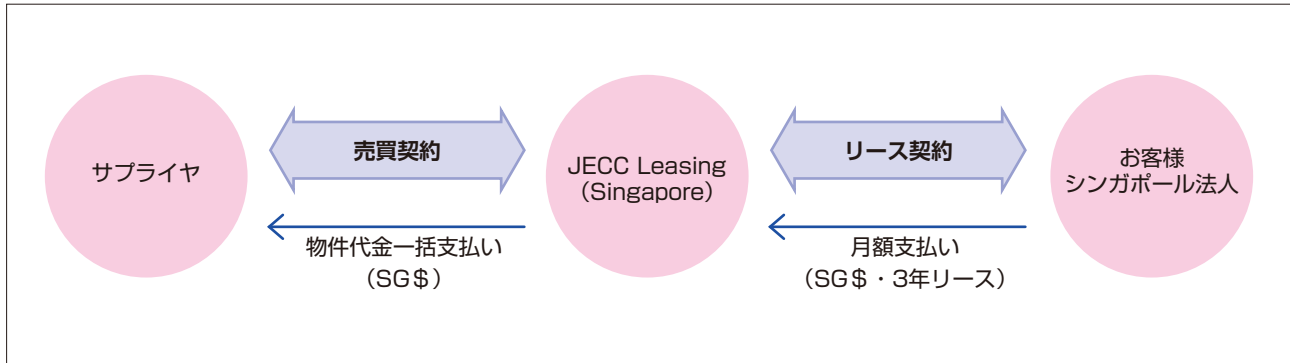
(図1) 割賦バックスキームイメージ図



点を最優先に取り組んだ。

最新機器の迅速な導入はJLSとサプライヤの連携により可能となった。また、一括費用負担の軽減のために、お客様とJLSにてリース契約を締結し、予算計画の範囲で費用を月額平準化、サプライヤへの物件代金はJLSが

(図2) リーススキームイメージ図



事例③

資金調達コストの削減及び 事務手続きの負担を軽減

ベトナムで電子部品製造を行う某社様では、産業設備を導入する際、ベトナム国内における市場金利が高いことを懸念していた。そこでJLSは、国境を越えたクロスボーダー取引によって、金利コストを削減するサービスを提供した。

この結果、お客様は新たな資金調達手段を確保し、金融機関の融資枠を温存することも実現した。

取引にあたっては、ベトナムには通貨規制があるためVND（ベトナムドン）は国外に持ち出せず、汎用性の高いUS\$で取引をしたいというお客様の要望にも対応し

一括で支払った（図2）。

この結果、お客様の今期の予算計画に大きな負担をかけることなく、迅速にIT機器が導入でき、今後は月額平準化により定期的な機器更新と予算計画の策定が容易になった。

た。また、支払いは事務負担軽減のため四半期払いを提案した（図3）。

他にも、諸外国では海外から資金調達する際には、外債登記をはじめ煩雑な手続きが必要となるケースが少ない。JLSでは、お客様の事務負担を少しでも軽減するため、こういった諸手続きに関する情報も提供している。

お問い合わせ先

海外現地法人、海外拠点向けファイナンスのご相談は、「JECC 国際営業部国際営業課」までお問い合わせください。

株式会社JECC 国際営業部国際営業課

部長：幸田 敏（こうだ さとし）

担当：古屋 敦司（ふるや あつし）

Tel：03-3216-3734（直通）

(図3) ファイナンススキームイメージ図

